

平成29年度における指定管理者の評価結果 目次

施設名	ページ
17 山口市宮野地域交流ステーション	
事務事業評価表	1
モニタリング評価表	2
18 山口市大歳地域交流ステーション	
事務事業評価表	3
モニタリング評価表	4
19 山口市島地温泉ふれあいセンター	
事務事業評価表	5
モニタリング評価表	6
20 道の駅あいお	
事務事業評価表	7
モニタリング評価表	8
21 山口市阿知須健康福祉センター	
事務事業評価表	9
モニタリング評価表	10
22 道の駅「きらら あじす」	
事務事業評価表	11
モニタリング評価表	12
23 山口市上村高齢者女性等活動促進センター	
事務事業評価表	13
モニタリング評価表	14
24 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター	
事務事業評価表	15
モニタリング評価表	16
25 山口市柚野地域活性化センター	
事務事業評価表	17
モニタリング評価表	18
26 山口市徳地三谷交流センター	
事務事業評価表	19
モニタリング評価表	20
27 山口市徳地高齢者・若者活性化センター	
事務事業評価表	21
モニタリング評価表	22
28 山口市柚野農産加工販売所	
事務事業評価表	23
モニタリング評価表	24
29 山口市徳地新規就農者技術習得施設	
事務事業評価表	25
モニタリング評価表	26
30 阿東ふるさと交流促進センター	
事務事業評価表	27
モニタリング評価表	28

事務事業評価報告書

施設名：山口市宮野地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・宮野地区住民 ・県立大学学生、教職員 ・宮野地域交流ステーション 		指定管理者制度を活用し、宮野地域交流ステーションの管理運営業務を行いました。 指定管理期間 平成28年度～平成32年度 指定管理者 宮野自治連合会 開館時間 午前8時30分～午後10時 開館日 原則毎日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流ステーションを利活用し、県立大学学生と地区住民の交流が進み、宮野駅周辺の風紀、環境が保たれます。 ・まちづくりにおける様々な主体がそれぞれの役割を認識し、協働してまちづくりを行います。 ・宮野地域交流ステーションを適正に管理します。 			
総合計画体系	政策	ともに力をあわせてつくるまち	
	施策	人のきずなでつくるまち	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等		宮野地区にある高等教育機関である大学と市民とが積極的に交流できる場を確保し、大学の持つ専門的な知識と住民の生活の知恵等を活かし、魅力あるまちづくりの推進のため施設を設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		平成28年度と比較すると利用者数が増加しており、今後も地域におけるコミュニティ活動の推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である宮野自治連合会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市宮野地域交流ステーション 指定管理者: 宮野自治連合会

指定期間: 平成28年度～平成32年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	窓口での受付はスムーズに行われている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に巡回して清掃を行い、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	定期的に職員1名が施設内で待機している。ボランティアを活用した際には研修等を行うこととしている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われたか。	定期的に施設利用者や宮野中学校の生徒と協働し、施設内外の清掃を行っている。				☆		4
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった際には、運営委員会で報告・協議を行い、適切に対処している。利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。			☆			3
		平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	鍵のかかる机の引き出しに、個人情報に関する資料等を保管している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	毎朝職員が巡回し、事故の事前防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。			☆			3
利用者の取り組み向上への	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板や地域交流センターだよりに掲載し、適切な情報提供を行っている。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	施設及び施設周辺の環境美化、駅利用者への無料貸出傘・無料貸出本設置、自転車の整理・整頓の実施など利用者サービスの向上に向けて取り組んでいる。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	県立大学と共催で、着物喫茶、徒歩ツアーを開催し、また、県立大学の入学試験の日には他団体と連携し、手荷物預かり、傘の貸し出し、お茶の接待等を実施し、学生や受験生のために休憩所を開設する等、施設利用者や交流を深めるための事業を実施している。				☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料の中で、適正に運営が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	計画的な施設管理及び事業運営が為されている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告及び経理事務は、適正に処理されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	4		55	
審査結果	前年度と比較すると、施設利用者が1262人増加しています。主な増加要因としては、山口線開通100周年記念行事、県立大生との共同企画「着物喫茶」や「まちあるき」の開催が挙げられ、「地域住民の交流の場の提供」という施設の設置目的を達成していると判断できます。さらに、施設利用者の拡大に向け、駅利用者や受験生へ活動の周知を円滑にされるなど、施設の設置目的や性質を十分に把握した活動が行われており、今後も引き続き大学と市民との交流の場が提供できることが見込まれます。			年度評価		A				
総評	—			総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口市大歳地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・大歳地域住民 ・大歳地域交流ステーション		指定管理者制度を活用し、大歳地域交流ステーションの管理運営業務を行いました。 指定管理期間 平成29年度～平成33年度 指定管理者 大歳自治振興会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 月曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
・大歳地域交流ステーションを利活用し、地域住民の交流が進み、また、大歳駅周辺の風紀や環境が保たれます。 ・まちづくりにおける様々な主体がそれぞれの役割を認識し、協働してまちづくりを行います。 ・大歳地域交流ステーションを適正に管理します。			
総合計画体系	政策	ともに力をあわせてつくるまち	
	施策	人のきずなでつくるまち	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等		平成23年に開催された国民体育大会の来場者をおもてなしするための施設として、JR大歳駅舎を整備・活用し、国体終了後は地域づくりやコミュニティ活動を中心とした「まちづくり」をするための施設として設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		平成28年度と比較すると利用者数が増加しており、今後も地域におけるコミュニティ活動の推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができますが、施設の現状では難しいと考えます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である大歳自治振興会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市大蔵地域交流ステーション 指定管理者: 大蔵自治振興会

指定期間: 平成29年度～平成33年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	窓口での受付は、スムーズに行われている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	ワークステーションが定期的に巡回して清掃を行い、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の利用状況を考慮し、適正な人員配置がなされている。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	ワークステーション等関係団体との合同消防訓練の実施、関係地区と連携を図りながらのイベント実施等、地域との連携が図られている。				☆		4
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった際は、迅速に対応している。利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。			☆			3
		平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢が適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報に関係する資料等は、施設して保管している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。			☆			3
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	センター日より自治振興会が発行する「かわら版おとし」(大蔵地区に全戸配布)に、施設の紹介等を掲載して利用促進を図っている。また、大蔵自治振興会のホームページ等で広報活動を行っている。				☆	
サービス向上			・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。また、自主事業を通じて利用者の拡大に努める等、施設の利用促進を図っている。				☆		4
利用者満足度		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	「四季の写真展」や「交流列車おとしまつり」の開催、ディスプレイキャンペーン期間に合わせ、SL利用者に手振りを行う等、積極的に施設利用拡大のための取組がなされている。				☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。アンケートの結果については、内容を検討し、可能な限り管理運営に反映している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料の中で、適正に運営が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的に施設利用があり、計画的な施設管理及び事業運営がなされている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告及び経理事務は、適正に処理されており、毎月の利用状況についても報告が行われている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	4	55		
審査結果	前年度と比較すると、施設利用者が210人増加しています。主な増加要因としては、恒例となった交流列車おとしまつりの開催や、他のイベントへの積極的な参加、運営努力等が考えられ、「地域住民の交流の場の提供」という施設の設置目的を達成していると判断できます。			年度評価				A		
総評	—			総合評価				—		

事務事業評価報告書

施設名：山口市島地温泉ふれあいセンター

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・島地地区住民 ・島地温泉ふれあいセンター 		指定管理者制度を活用し、島地温泉ふれあいセンターの管理運営業務を行いました。 指定管理期間 平成26年度～平成30年度 指定管理者 島地温泉ふれあいセンター運営協議会 開館時間 午前10時～午後8時 休館日 原則水曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のコミュニティが確立します。 ・島地地区住民と都市住民が交流します。 ・地域が活性化し、健全な発展をします。 			
総合計画体系	政策	ともに力をあわせてつくるまち	
	施策	人のきずなでつくるまち	
	基本事業	地域コミュニティの充実	
事業開始背景等		徳地地域の旧村5地区(出雲・八坂・柚野・島地・串)において、交通・福祉・教育・産業等の拠点となる拠点施設を整備し、地域コミュニティの活性化と地域社会システムの再構築を図ります。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		利用者数は順調に推移しており、今後も地域コミュニティの活動拠点としての役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		当該地域における類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
		<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	
指定管理者の努力による利用者増や、自主事業により利益を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができます。			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である島地温泉ふれあいセンター運営協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市島地温泉ふれあいセンター 指定管理者: 島地温泉ふれあいセンター運営協議会

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆				3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆				3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆				3
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆			4
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆				3
	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆				3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆				3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆				3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆				3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。				☆		4
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	5	56	
審査結果	リピーターを中心に施設の利用者数は順調に推移しています。 自主事業の拡充や各種イベントへの積極的な参加、マスメディアを活用した地域内外の幅広い世代に対する広報活動を展開されており、引き続き安定した利用者数が見込まれます。 また、温泉を活用した地域間交流や産業の拠点として、今後更なる活躍が期待されます。		年度評価			A			
総評	—		総合評価			—			

事務事業評価報告書

施設名:道の駅あいお

担当部 秋穂総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 道の駅あいお 利用者		【施設概要】道の駅あいお ・平成7年1月オープン ・直売所、飲食提供施設、情報発信コーナー 【管理内容】 ・休館日は毎月第2、第4水曜日及び12月31日から1月3日です。 ・指定管理者へ管理運営業務を委任しました。 ・指定管理者へ助言指導を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		【指定管理者が実施する主な業務】	
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。		・特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市・農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	近隣の農産物・特産品直売所等の類似施設の増加により、農産物売上高や来場者数はほぼ横ばいですが、イベントの工夫などにより、成果向上の余地はあると考えています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した運営が行われており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<改革概要> 維持管理費用を抑えた中で、順調に成果をあげていることから、現在の状態を維持していく必要があります。			
<指定管理者の評価> 道の駅あいおの指定管理者である秋穂産業振興協会は、限られた施設容量の中で、地域や関係団体と連携することで、道の駅あいおの設置効果を最大限に発揮し、地域振興に貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:道の駅あいお

指定管理者:秋穂産業振興協会

指定期間:平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、料金の徴収、鍵の施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
	労働環境	・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がされているか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		3
経営状況	収支等実績	改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆		3
		収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。				☆	4
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆		3
		経理状況	・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3
評点合計			標準		57	加算	2	59
審査結果	秋穂産業振興協会は、道の駅あいおの限られた施設容量の中で、管理経費を抑え、手堅い運営を行っている。そうした中、地元特産品の開発・販売に積極的に取り組み、平成29年度は売上、来客者数ともに前年を上回っている。また、地域のお祭りなどの行事にも積極的に参加し、関係団体との連携も図られている。		年度評価		A			
総評	—		総合評価		—			

事務事業評価報告書

施設名：山口市阿知須健康福祉センター

担当部 阿知須総合支所

担当課 総合サービス課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
阿知須健康福祉センター 市民		阿知須健康福祉センターの管理運営を指定管理により行いました。 1. 施設概要 自発的な健康づくり活動、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進のため、平成15年開設 2. 開設時間 午前9時から午後5時まで 3. 主な利用者 健康福祉推進活動団体、個人 4. サービス内容 3の個人・団体が活動を行うための施設(多目的スタジオ、高齢者娯楽室等)の利用許可や指定管理者による自主事業(おげんきかん祭り、各種福祉事業等)の開催	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
健康福祉センターを活用することで、市民の交流促進、健康増進を図り、地域福祉の充実及び健康の増進を図ります。			
総合計画体系	政策	支えあい健やかな暮らしのできるまち	
	施策	地域で支えあう福祉のまち	
	基本事業	施策の総合推進	
事業開始背景等	すべての市民が安全で健康な生活を送ることができ、自発的な健康づくり活動を推進するとともに、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進を図るため、平成15年に当センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	今後、住民ニーズに応じた自主事業や施設の貸し出しを行うことで、より一層の成果向上が見込めます。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		地域福祉活動及び住民の自主的な健康増進活動は他事業等でも実施していますが、当センターは、特に阿知須地域の活動における重要な拠点として機能しています。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
		<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	
指定管理料の中での効果的な予算配分・予算執行するよう指導していきます。			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
山口市阿知須健康福祉センターは、事業計画書、協定書及び年度協定書に基づき適正に管理運営されており、利用者等のニーズの把握や、地域活動への積極的参加、年間利用者の利用日程調整等、地域密着型の運営がなされており、利用者への配慮も行き届いていると認める。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市阿知須健康福祉センター

指定管理者：社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間：平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。				☆		4
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・地域や福祉団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
	接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。				☆		4
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		54	加算	3	57
審査結果	山口市阿知須健康福祉センターは、事業計画書、基本協定書及び年度協定書に基づき適正に管理運営されており、利用者等のニーズの把握や福祉団体との緊密な連携、年間利用者の利用日程調整等、地域密着型の運営がなされ、利用者への配慮も行き届いていると認める。		年度評価		A			
総評	—		総合評価		—			

事務事業評価報告書

施設名:道の駅「きらら あじす」

担当部 阿知須総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 道の駅きららあじす 利用者		【施設概要】道の駅きららあじす ・平成17年3月オープン ・直売所、飲食提供施設、特産品加工施設、情報発信コーナー等 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し助言指導を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市・農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農業の振興	
事業開始背景等	農業の振興、都市と農村との交流のために農産物等を販売する施設として整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。指定管理者である阿知須まち開発(株)は、市が700万円を出資、出資比率は60.9%の第3セクターです。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	利用者数、農産物売上額が低下した原因のひとつは、ここ数年続いていたきらら博記念公園での大規模イベントが、昨年度は行われなかったためと推察されます。 平成30年度は、きらら博記念公園において、山口ゆめ花博が開催されることとなっていることから、日常の来場者増加の取り組みとあわせて、大規模イベントと連携した取り組みを強化します。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設はありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営を行っており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<改革概要> 地域の拠点施設として、順調に成果をあげており、効果を維持しつつ維持管理経費が最小限となるよう努めます。			
<指定管理者の評価> 道の駅「きらら あじす」の指定管理者である阿知須まち開発(株)は、施設の維持管理、情報案内業務等、指定管理者としての業務を適切に実施しているとともに、施設の設置目的に沿った自主事業を積極的に行っており、地元農家の所得向上をはじめ、地域振興に貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:道の駅「きらら あじす」

指定管理者:阿知須まち開発株式会社

指定期間:平成28年度～平成32年度

評価項目		評価コメント	評価					評点			
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、料金の徴収、鍵の施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	受付事務・料金徴収等は適正に行われており、利用許可についても施設の設置目的に沿って判断されている。夜間は機械警備が導入され、鍵は職員により適切に管理されている。不具合の箇所は迅速に修繕が行われている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	毎日複数回の日常清掃、年4回の業者による定期メンテナンスの他、緑化作業、各種法定点検などが適切に行われている。利用者等の利便性を考慮した改修等が自主的な費用負担により行われている。備品は台帳が整理され適正に管理されている。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	職員により適切に監督されている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	シフトが組まれ、混み合う時間帯に配慮した人員配置が行われている。農産物の専門知識をもった職員を配置し、農業管理等を出荷農家に指導されている。年1回の視察研修の他、中国道の駅連絡協議会研修、隔年でAEDの取り扱い講習等を実施されている。			☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	特産品のくりまさるを主に地元農産物を使用した商品の開発、PR活動などまごづくりに貢献されている。また、各種講座や地元芸品の展示、農産物の作付体験などを地元団体と協働で実施する他、大学生のインターンシップ受け入れや地元中学生の総合学習の場として施設を提供されている。その他に、商工会との連携により、月1回既存商店街に出店するなど地域社会づくりに貢献されている。				☆		4	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情はただちに駅長に連絡され迅速に対処されている。また、その内容や対応に関する情報を記録し、社員で共有し改善に向けた取り組みがなされている。施設利用者への各種案内業務は適切に対応されている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がされているか。	労働関係法令を遵守され、従業員が働きやすい環境作り積極的に取り組まれている。また、季節ごとの特別休暇やパートも含めたすべての社員が定期健康診断を受診するなど福利厚生制度が整えられている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	受付事務等、個人情報に関することは事務室で行われている。利用者や社員の個人情報は事務所内の鍵付書庫で保管し、職員不在時には施錠するなど、適切に管理されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	雨天時に滑るのを防ぐため、床の拭き取りを頻繁に行うなど、利用者の安全に配慮した施設内外の整理整頓・管理が行われている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	事故や災害等の緊急時の連絡網が整備されている他、年2回の消防訓練や自主点検など消防署の指導に従い、適切な管理体制等が整えられている。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	ホームページや施設内のスペースを活用し、道の駅だけでなく周辺地域の情報や旬の情報も充実させて発信されている。			☆			3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	くりまさるの新商品の販売や、各種イベント開催の他、ロビーに電子レンジを設置するなど、利用者のニーズを取り入れた管理運営が行われている。地域の情報をまとめた手作りの案内図を展示されている。また、外国人旅行者を対象とした、消費税が免除される免税販売システムを導入された他、無料で利用できる公衆無線LANが整備されている。			☆			3
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	恒例となった周年記念祭や秋の収穫祭の他、野菜の作付体験や各種イベントを開催するなど積極的に取り組まれている。			☆			3
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	スタンプラリーを利用したアンケートを行い、意見を事務室に貼り出す等、職員への周知が行われている。喫煙コーナーの設置箇所を変更するなど利用者の意見を取り入れ、対応されている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	地域おこし協力隊や地域在住の女性起業家が開発された地域の農水産物を活用した付加価値の高い商品が販売されている。また、農産物の売り切れ解消等の取組み等の他、売れ筋商品の研究、入れ替え等を模索されている。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	概ね整合している。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	利用者数の減少傾向が続いているが、平成29年度は売上額の増加が見られるなど概ね安定した運営がなされている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。	振替伝票と会計ソフトを利用し適正に、経理事務が処理されている。			☆			3	
評点合計			標準		57	加算	1		58		
審査結果	道の駅「きららあじす」設置当初からの指定管理者である阿知須まち開発株式会社は、地域の状況等を深く理解されており、地元関連団体、特に農産物出荷者との信頼関係が強く、地域や関係団体と積極的な連携が行われている。平成29年度における施設利用者数、農産物売上額はともに前年比で減少したが、その原因のひとつとしてきらら博記念公園での大規模イベントが行われなかったためと推察される。指定管理者においては、特産品のくりまさるを使用したオリジナル商品の開発や既存商品の見直しにより施設全体の売上額は前年より増加しており、引き続き安定した経営に努められている。			年度評価					A		
総評	—			総合評価					—		

事務事業評価報告書

施設名: 山口市上村高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか) ・市民 ・上村住民 ・上村高齢者女性等活動促進センター		手段(事務事業の内容、やり方、手順) 指定管理者制度を活用し、上村高齢者女性等活動促進センターの管理運営を行いました。 指定管理期間 平成27年度～平成31年度 指定管理団体 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・住民主体の地域コミュニティが確立されています。 ・地域が活性化し健全に発展しています。 ・高齢者や女性の能力及び生きがいが発揮でき、健康増進等福祉が向上しています。			
総合計画体系	政策	ともに力をあわせてつくるまち	
	施策	人のきずなでつくるまち	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	合併時からの継続事業 徳地上村地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	有効性	成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	利用者数の増加に繋がる取り組みもしており、今後も地域の高齢者及び女性の活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。
効率性	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	地域ごとの事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。	
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市上村高齢者女性等活動促進センター 指定管理者：上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 指定期間：平成27年度～平成31年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督が適正に行われたか。	点検・検査業務など、再委託業者に対する監督は、適正に行われている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行なわれている。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	指定管理者が、地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。	事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。	適正に管理・保管がされている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	非常時の連絡網が整備されており、危機管理体制が整えられている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料や施設使用料の収入により、予算の範囲内で効率的に運営されている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は、適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	1		52	
審査結果	定期的な地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。			年度評価		A				
総評	—			総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：**山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター**

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・伊賀地住民 ・伊賀地高齢者女性等活動促進センター		指定管理者制度を活用し、伊賀地高齢者女性等活動促進センターの管理運営を行いました。 指定管理期間 平成27年度～平成31年度 指定管理団体 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
・住民主体の地域コミュニティが確立されています。 ・地域が活性化し健全に発展しています。 ・高齢者や女性の能力及び生きがいが発揮でき、健康増進等福祉が向上しています。			
総合計画体系	政策	ともに力をあわせてつくるまち	
	施策	人のきずなでつくるまち	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等		合併時からの継続事業 徳地伊賀地地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		利用者数の増加に繋がる取り組みもしており、今後も地域の高齢者及び女性の活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		地域ごとの事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 指定期間: 平成27年度～平成31年度

評価項目			評価コメント	評価					評点
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計				標準		51	加算	1	52
審査結果	定期的な地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。			年度評価			A		
総評	—			総合評価			—		

事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野地域活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・柚野住民 ・柚野地域活性化センター		指定管理者制度を活用し、柚野地域活性化センターの管理運営を行いました。 指定管理期間 平成27年度～平成31年度 指定管理者 柚野地域振興協議会 開館時間 午前8時30分から午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
・住民主体の地域コミュニティが確立しています。 ・柚野地域活性化センターを活用し、地域住民が地域資産を有効に活用したまちづくりを行い、地域が活性化しています。			
総合計画体系	政策	ともに力をあわせてつくるまち	
	施策	人のきずなでつくるまち	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	合併時からの継続事業 地域住民の主体的な取組を基礎として、地域の活性化及び自立を図り、地域の健全な発展に寄与するため、柚野地域活性化センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	利用者数の増加に繋がる取り組みもしており、今後も地域の活性化を図るための活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	地域ごとの事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である柚野地域振興協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名： 山口市柚野地域活性化センター 指定管理者： 柚野地域振興協議会

指定期間：平成27年度～平成31年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	点検・検査業務など、再委託業者に対する監督は、適正に行われている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行なわれている。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われたか。	指定管理者が、地域団体の委員により構成されており、地域との連携が図られている。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。	事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	事務室内の鍵のかかるロッカーにおいて、適正に管理・保管がされている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	隣接する加工所と協力して、消防署員立会の下避難訓練を実施するなど、非常時の対応や連絡体制がとられ、危機管理体制が整えられている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料や施設使用料の収入により、予算の範囲内で効率的に運営されている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	1		52	
審査結果	定期的な地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。			年度評価		A				
総評	—			総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地三谷交流センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家及び住民 三谷交流センター利用者		【施設概要】 ・平成16年にオープンし、交流室、調理等体験交流室があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・都市住民との交流事業に関するを行いました。 ・地域の集落間の連携事業に関するを行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農家及び住民と都市住民との交流により地域が活性化します。 利用者の農業に対する理解が促進されます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	三谷地域は過疎化・高齢化が進行しており、都市農村交流の拠点として平成16年に整備しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	一年を通じた多彩なイベントの開催により、地域内外の交流拠点としての機能を果たしています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内に同様の施設がありますが、地域の振興の拠点として管理運営をしており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。	
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
維持管理費用を抑えた中で、現在の状態を維持していくことが重要です。指定管理者である三谷地域づくり協議会は、三谷をよくする会主催の「歩こう会」等の取組みを継続していくことで、地域住民と都市住民との交流促進にも貢献していますが、地域の高齢化に伴い、施設管理主体となる新たな担い手の発掘が必要です。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市徳地三谷交流センター

指定管理者：三谷地域づくり協議会

指定期間：平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		54	加算		54	
審査結果	三谷地域づくり協議会は、基本的な施設の維持管理業務を適切に実施する一方、地域の取組みとして「ほたるまつり」、「三谷いしがき棚田会による農業体験」などを実施しており、内容の濃い農村生活体験を促進している。当該センターは、これらの都市農村交流イベントには必ずしも利用されている。上記の活動により、地域コミュニティの衰退を防ぐことができ、地域内の連携が促進されるとともに、地域外へも三谷地域の魅力が発信され、農村の振興に貢献している。		年度評価		A				
総評	—		総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地高齢者・若者活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 高齢者・若者活性化センター利用者		【施設概要】高齢者・若者活性化センター(南大門) ・平成3年11月オープンです。 ・展示販売所、研修室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の展示販売に関するを行いました。 ・都市・農村交流、イベント開催・参加、高齢者の生きがい創出・社会参加に関するを行います。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が高齢者・若者活性化センターを訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	徳地地域の豊富な農林水産資源ならびに高齢者に蓄積された体験及び知識を活用した特産品の振興及び若者への伝承により、一次産業を中心とした地域活性化を図ることを目的として設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	現在においても、都市農村の交流拠点としての機能を十分に発揮しておりますが、今後は、季節ごとに開催されるイベント企画の工夫や販売品目の幅を広げることで交流拠点機能の向上を図れます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営が行われており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
維持管理費用を抑えた中で、成果をあげていることから、現在の状態を維持していくことが重要です。指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、特産品の展示、販売の実施と様々な研修会の開催を通して、高齢者に蓄積された体験、知識の伝承の場となるよう運営に努めています。また、展示・販売している特産品等は地元のものとしており、高齢者の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進にも貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地高齢者・若者活性化センター 指定管理者: 徳地ふるさと資源活用協会

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の点検を定期的に行い、異常箇所を発見次第、迅速に修繕等を行っており、適正な施設の運営が行われている。		☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	毎日のトイレ清掃をはじめ、施設の美化が適正に行われている。また、備品等も良好な状態に管理されている。		☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	専門的知識が必要な保守点検及び年次の定期清掃のみ委託しており、適正な監督がされている。		☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	平日と休日の利用者数の違いを考慮した体制をとることで効率的な人員配置がされており、また定期的なミーティング等を通じて職員の啓発が行われている。		☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	徳地フェスティバルやルーラルフェスタ等へ参加することで地域や関係団体との連携や協働が適切に行われている。		☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情はなかったが、迅速に対応できる体制はとられている。		☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法や労働安全衛生法などの労働関係法令は遵守されている。		☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。		☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。	個人情報第三者の目に触れることの無いよう処理し、保管する際は施設施設で適切に保管されている。		☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	避難訓練を定期的実施しているほか、安全確保のため施設内外の点検をされている。		☆			3
危機管理		・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	営業終了後は、資材や運搬具を店舗内に収容し、夜間については、機械警備を導入しており、適切な防犯対策が講じられている。		☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設内にパンフレットを設置し、近隣の観光案内などが行われており、テレビ・ラジオ等を活用した広報活動も行われている。また、南大門に出展された農産物を使った鍋を防府市で開催された「鍋1グランプリ」に出品するなどの効果的な営業に努められている。		☆			3
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	POP制作や調理レシピの配布など商品の魅力を伝える取組や徳地花火大会に併せて営業時間を延長するなどのサービス向上に努めている。また、多くの展示品を見やすく展示する工夫を日常的に行っている。		☆			3
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	徳地地域内の特産品試食会や季節ごとに期間限定イベントを実施されている。		☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	アンケートを実施し、利用者の意見、要望を聞き、サービス向上や利用促進を図っている。		☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	利用者の安心・安全というニーズに応えるため、取り扱い商品は全て地元産で揃えられている。また、生産者に呼びかけ野菜などの取り扱い数を増やす努力をされている。		☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	おおむね順調である。		☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	イベント等の実施により、売上高も増加している。		☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。		☆			3
評点合計			標準		57	加算		57	
審査結果	徳地ふるさと資源活用協会は、特産品等の展示、販売の実施と様々な研修会の開催を通して、山口市徳地高齢者・若者活性化センターが高齢者に蓄積された体験、知識の伝承の場となるよう運営に努めている。また展示、販売している特産品等は主に地元のものとしており、高齢者の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民との交流促進にも貢献している。加えて、特産品試食会や期間限定の農産物販売といった企画のほか、積極的な地域イベント参加により、施設と地域の新たな魅力発信に努めている。		年度評価		A				
総評	—		総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野農産加工販売所

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 柚野農産加工販売所 利用者		【施設の概要】 ・地元農産物を使った加工品の開発、製造及び地元農林産物の販売を目的として平成17年6月25日に開設しました。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者の主な業務】 ・農林産物の加工や販売に関することを行いました。 ・都市・農村交流イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等を行いました。 ・主に豆腐、もち、漬物、惣菜を加工、販売しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が加工販売所を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	地元農産物の加工販売を目的として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	加工食品の豆腐は人気商品であり、これに続く商品開発や現行商品の販売方法を工夫するなどして、売上増加の余地がある。 また、ルーラルフェスタに代表される都市農村交流イベントへの積極的な参加により、成果向上の余地がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内に同様の施設はありますが、地域振興の拠点として管理運営が行われており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	特にありません。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
特産品の出品者である地域住民の生きがい創出、地域コミュニティの拠点として機能していますが、地域の過疎化・高齢化が著しく、冬季(1月・2月)は天候によっては営業が困難な地理的条件もあることから、来場者が減少傾向にあります。 今後は、人気商品であるゆず豆腐に続く加工品の開発や現行商品の販売方法の工夫などにより収入増加に努めるとともに、都市農村交流イベントに積極的に参加し、利用者増を図っていく必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市柚野農産加工販売所

指定管理者: 山里農産加工販売所運営協議会

指定期間: 平成28年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		54	加算		54	
審査結果	地域特産品の加工販売を通じ、地域住民の生きがい創出や都市住民との交流拠点として地域振興に貢献している。また、維持管理経費などの経費節減に努め、安定的な運営を行うとともに、地域団体や周辺施設との連携により様々なイベントに参加し、特産品のPR等に取り組んでいる。今後は、現在の取組を継続していくとともに、新たな人気商品の開発や現行商品の販売方法の工夫、自主事業の展開など利用者増を図る取組が求められる。		年度評価		A				
総評	—		総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか) 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 山口市徳地農業公社 認定就農者		手段(事務事業の内容、やり方、手順) 当該施設で、新規就農希望者(認定就農者)を対象に栽培に必要な技術等を習得するための実践的な栽培研修を行いました。管理運営については、山口市徳地農業公社を指定管理者としています。 【施設概要】 敷地面積: 8,014㎡ 管理棟 木造2階建 栽培ハウス(イチゴ) 2棟 栽培ハウス(ホウレン草) 2棟 育苗ハウス 2棟 栽培ほ場 2,000㎡	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 当該施設で研修を行った新規就農者が地域の中心的担い手農家として活躍しています。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	多様な担い手の育成・支援	
事業開始背景等	若い農業者の確保・育成と定住を目的に平成12年に設置した施設であり、目的達成のため施設の適切な管理・運営を図る必要があります。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	有効性	成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし 施設の設置目的に従い新規就農を希望する研修生を継続して受け入れ、研修終了後就農させることで、新規就農者の増加を図ることができます。	
効率性	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし	対象及び目的等が限定されており、類似の事業はありません。	
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	ありません。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設設置目的に沿った管理運営により、当該施設で研修を行った研修生は地域の中心的担い手として活躍しています。しかしながら、農業を取り巻く環境の変化に伴い、新規就農希望者が農業経営を開始するために必要な技術や知識を習得する方法も多様化しており、当該施設の管理運営のみにより若い農業者の確保・育成を推進することが困難となってきています。今後は、事業の対象や意図を見直し、施設の管理運営方法を検討する必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設

指定管理者: 公益社団法人山口市徳地農業公社 指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	設置目的の達成	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		受託事業 ・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3		
経営状況	収支等実績	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性 ・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		54	加算		54
審査結果	研修生に対し農業経営に必要な技術及び知識の習得支援を行うとともに、施設の維持及び修繕、地域への栽培技術の普及等、管理業務を適切に実施している。また、様々なイベントへの参加により地域との連携が図られており、都市と農村の交流事業を通じて地域農業の振興に貢献している。		年度評価			A		
総評	—		総合評価			—		

事務事業評価報告書

施設名：阿東ふるさと交流促進センター

担当部 阿東総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民等利用者		<input type="checkbox"/> 指定管理者へ運営維持管理業務を委任しました。 <input type="checkbox"/> 指定管理者へ指導助言を行いました。 <input type="checkbox"/> 施設の修繕を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
市民等が農業に触れ合う機会を創出し、農産物への理解を促します。多くの人がふるさと交流促進センターを訪れます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	県農業試験場徳佐寒冷地分場の廃止に伴い、都市農村交流の拠点として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	年間を通じて都市と農村の交流事業を実施することで一定の成果をあげています。今後も地域の特色を生かした交流事業を継続することで、成果向上の余地はあると考えています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、農園等の施設利用者の多くは、自宅からの距離が近いことを条件としているため、施設の廃止、統合は適当でないと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
コスト削減余地	コスト削減余地	施設の用途が制限されており、コスト削減が難しい。	
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、施設の維持管理業務を適切に実施しており、また都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献しており、当センターを有効に管理運営しています。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：阿東ふるさと交流促進センター

指定管理者：NPOあとう

指定期間：平成28年度～平成32年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。		☆				2	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	センター運営のため、必要な人員数が確保されており、センター内の農園管理については経験者が配置されている。また、職員の研修等を通じて人材育成が行われている。			☆		3	
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	様々なイベントや行事を行う中で、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われている。			☆		3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	事故や苦情等も特になく、適切に運営されている。				☆	4	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	おおむね充実している。			☆		3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な施設周辺の点検をしており、また、各種イベント等の利用前にも点検を行っており、適切に対応されている。			☆		3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	定期的に異常箇所の有無を点検する等、適切な安全管理体制がとられており、非常時の連絡網も整備されている。			☆		3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	市内の地域交流センターなどへのイベント情報の周知などに取り組むとともに、市報や農園だよりで周知が行われている。			☆		3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	ホームページ等を活用し、利用促進を図っている。			☆		3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	様々なイベントを行い、利用向上に向けた取り組みがされている。			☆		3
		体験交流事業	・体験交流事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的に沿った事業展開が図られており、特に、地元の小学生の体験交流も受け入れられるなど体験交流者の増加に向けて適切に実施されている。			☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	常に利用者の意見を聴取しており、その意見が施設の管理運営に反映されている。			☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	イベント実施により施設の利用件数を増やすための取組みがされている。			☆		3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	人件費の抑制、消耗品費などの経費節減に努めるとともに、空調・照明などの光熱水費の節減に努めている。			☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	施設管理のために適正な支出が行われており、収支状況は順調であり、計画的に処理がされている。			☆		3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。			☆		3
評点合計			標準		60	加算	1	61	
審査結果	阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、一部の修繕箇所について連絡の遅延が見られるものの、そのほかの施設の維持管理業務については、適切に実施されている。また、都市農村交流等の事業を通して地域の活性化に貢献され、利用者のサービス向上への取り組みも実施されている。経営状況についても特に問題ないことからおおむね良好の評価とした。		年度評価			B			
総評	—		総合評価			—			